

OMETETA (NPO 法人 海外医療機器技術協力会) は政府が実施している ODA( 政府開発援助 ) によって開発途上国の保健医療分野に対し供与された医療機器、及びその他関連機材についてのフォローアップ事業を支援しています。

[www.ometa.or.jp](http://www.ometa.or.jp)

## 国際医療協力局のグローバルヘルス活動と企業の海外展開支援

国立国際医療研究センター (NCGM) 国際医療協力局 展開支援課

厚生労働省は、我が国で構築された優れた公衆衛生対策、高度な医療技術等の知識・経験を諸外国と共有し医療・保健分野における国際貢献や相互利益に基づく医療技術・製品の国際展開の推進に取り組んでいます。この取り組みの一環として、「医療技術等国際展開推進事業」は、2015年から厚生労働省の補助金事業として実施しており、医療技術・製品の効果的な展開のために必要な臨床技術向上、制度作り、新たな保健課題をカバーする人材育成を行っています。NCGMはその事務局として、事業全体のマネジメントとモニタリング・評価を行っています。今回、2017年～2022年度に行われた84事業を対象として、これまでの事業全体の成果をまとめました。

分析の結果、事業全体でのべ132,946人、32カ国に対して人材育成のための研修を行いました。事業対象国は、アジア76事業、アフリカ7事業でした。事業が対象とする医療技術・製品は、感染症、母子保健、非感染性疾患、輸血関連や医療機器管理等、多岐にわたっていました。対象とした84事業のうち、医療製品を扱っている事業は44事業であり、うち25事業(全体の約30%程度)で現地での調達につながったと報告がありました。調達につながらなかった事業の中でも、現地での医療製品の認証取得、保険収載、医療機器調達リスト掲載、調達の合意に至っていました。

令和5年度の医療技術等国際展開推進事業は、アジアとアフリカの14カ国で実施されました。事業の多かった国は多い順にベトナム、モンゴル、インドネシアと続き、アフリカでもケニアにおいて3事業が実施されています。これら医療製品の展開に関連する成果の1例として、令和5年度に実施されたベトナムの医療機器関連の事業について御紹介いたします。



電気メス定期点検の実習 (NCGMセンター病院)

### 〈ベトナムにおける医療機器分野のDOHAシステム確立推進事業〉

本事業が適切に機能すると、現地スタッフによるベトナム規定に沿った根拠に基づく医療機器保守管理がベトナムの広範囲地域で行われることとなります。これにより、医療機器を用いた高度医療が各地で提供可能となり、総合的にベトナムの医療水準の向上や自立性を促す可能性が期待されます。同時に高品質な日本製の医療機器や計測装置を事業研修に用いることにより、企業の海外展開への促進する事が期待できます。

以下、2023年度報告書をご参照ください。

[https://kyokuhp.ncgm.go.jp/activity/open/outline\\_R5/R5\\_VNM\\_7J.pdf](https://kyokuhp.ncgm.go.jp/activity/open/outline_R5/R5_VNM_7J.pdf)



また医療技術等国際展開推進事業に関する情報は以下よりご参照ください。

<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/activity/open/index.html>

